

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第35期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社秋川牧園
【英訳名】	AKIKAWA FOODS & FARMS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 秋川 正
【本店の所在の場所】	山口県山口市仁保下郷317番地
【電話番号】	083(929)0630
【事務連絡者氏名】	経営管理部次長 原田 良人
【最寄りの連絡場所】	山口県山口市仁保下郷317番地
【電話番号】	083(929)0630
【事務連絡者氏名】	経営管理部次長 原田 良人
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第2四半期連結 累計期間	第35期 第2四半期連結 累計期間	第34期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	2,053,259	2,107,907	4,291,332
経常利益又は経常損失( ) (千円)	27,141	31,959	43,118
四半期純損失( )又は当期純利 益(千円)	39,023	37,178	18,650
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	41,109	36,214	23,522
純資産額(千円)	1,253,555	1,269,453	1,318,188
総資産額(千円)	3,908,366	3,736,155	3,960,174
1株当たり四半期純損失金額 ( )又は1株当たり当期純利益 金額(円)	9.35	8.90	4.46
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	32.1	34.0	33.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	119,107	84,939	259,707
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	138,355	66,100	303,203
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	86,656	178,164	21,699
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	820,911	572,381	731,706

回次	第34期 第2四半期連結 会計期間	第35期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 ( )(円)	7.92	4.54

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第34期第2四半期連結累計期間及び第35期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第34期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融政策等の効果により、円安・株高が進み、企業収益や個人消費に一部改善がみられました。しかしながら、新興国経済の減速、米国金融政策等の下振れ懸念などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の根強い低価格志向が継続してきた経過にありますが、景気の回復が見える中で、品質志向、健康志向への回帰が見られ、今後が期待されるところです。

一方当社では、安心・安全な食の市場の成熟化が進むことを早くから予測し、食の安心・安全のさらなるレベルアップと、新時代の健康提案に向けての研究開発、情報発信、栄養提案などに取り組んでまいりました。今後、当社の商品開発や事業展開において大きな力になるものと考えております。

このような状況の中、当社の主たる販売先である産直型の生活協同組合及び宅配会社に対する主力の鶏肉の販売は、前年同期と比べ減少したものの、宅配事業の会員数増加による販売の伸長で、全体の売上は増加いたしました。利益面につきましては、宅配事業の売上増加や、鶏肉一次処理の歩留り率の向上等の増益要因がございましたが、飼料を中心とする原材料価格の高騰や、鶏肉の販売減少の影響等により減益となりました。なお、当社グループの売上は、鶏肉等の需要が秋から冬にかけて多くなるため、利益の大半が下半期に発生する傾向があり、当期につきましてもその形で推移するものと見込んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、21億7百万円（前年同期比2.7%増）、営業損失は50百万円（前年同期は35百万円の損失）、経常損失は31百万円（前年同期は27百万円の損失）、四半期純損失は37百万円（前年同期は39百万円の純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （産直畜産事業）

主に産直型の生活協同組合及び宅配会社へ販売している鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵等で構成される産直畜産事業につきましては、主力の鶏肉の販売は前年同期を下回りましたが、冷凍加工食品及び鶏卵の販売が前年同期を上回ったため、売上高は微増となりました。利益面につきましては、飼料を中心とする原材料価格の高騰と、鶏肉の販売減少により減益となりました。

この結果、産直畜産事業の売上高は、16億90百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は91百万円（前年同期比22.3%減）となりました。

#### （総合宅配事業）

当社の食品を中心に会員宅に商品をお届けする会員制宅配事業「スマイル生活」につきましては、全国向けの宅配の会員数が首都圏を中心に伸長したことにより、売上高・利益ともに増加いたしました。

この結果、総合宅配事業の売上高は、3億44百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は0.2百万円（前年同期は10百万円の損失）となりました。

#### （牛乳製造卸売事業）

牛乳や乳製品を生産、販売している牛乳製造卸売事業につきましては、新容器による量販店での販売展開が順調に伸長し、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の増加により前年同期並みとなりました。

この結果、牛乳製造卸売事業の売上高は、29百万円（前年同期比14.7%増）、営業損失は11百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。

#### (2)キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、短期借入金の純減額、長期借入金の返済による支出、有形固定資産の取得による支出等により前連結会計年度末に比べ1億59百万円減少し、5億72百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は84百万円(前年同期は1億19百万円の獲得)になりました。

これは主として、税金等調整前四半期純損失(31百万円)に対して、減価償却費(1億23百万円)、賞与引当金の増加(20百万円)等から、仕入債務の減少(23百万円)等を控除した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は66百万円(前年同期は1億38百万円の使用)になりました。

これは主として、投資有価証券の売却及び償還による収入(50百万円)等から、有形固定資産の取得による支出(1億6百万円)、貸付による支出(8百万円)等を控除した結果によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億78百万円(前年同期は86百万円の獲得)になりました。

これは主として、長期借入れによる収入(1億円)等から、短期借入金の純減額(1億30百万円)、長期借入金の返済による支出(1億28百万円)等を控除した結果によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、22,094千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,179,000	4,179,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	4,179,000	4,179,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高(千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	4,179	-	714,150	-	381,030

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
秋川 正	山口県山口市	1,135	27.2
秋川 實	山口県山口市	431	10.3
秋川牧園職員持株会	山口県山口市仁保下郷317	369	8.8
(株)山口銀行	山口県下関市竹崎町4丁目2-36	200	4.8
秋川 喜代子	山口県山口市	154	3.7
秋川 壽子	千葉県印西市	129	3.1
山口県信用農業協同組合連合会	山口県山口市小郡下郷2139	120	2.9
伊藤忠飼料(株)	東京都江東区亀戸2丁目35-13	106	2.5
秋川 茂	山口県防府市	69	1.7
中村 昌子	山口県山口市	56	1.3
計	-	2,770	66.3

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,168,000	4,168	-
単元未満株式	普通株式 6,000	-	-
発行済株式総数	4,179,000	-	-
総株主の議決権	-	4,168	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)秋川牧園	山口県山口市仁保下郷317	5,000	-	5,000	0.12
計	-	5,000	-	5,000	0.12

2 【役員】の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、西日本監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	711,247	551,915
受取手形及び売掛金	499,474	498,549
有価証券	120,549	120,555
商品及び製品	75,541	72,787
仕掛品	295,245	289,846
原材料及び貯蔵品	68,225	61,190
繰延税金資産	18,915	20,702
未収入金	157,331	168,691
その他	29,929	30,177
貸倒引当金	1,043	947
流動資産合計	1,975,416	1,813,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	648,960	631,564
機械装置及び運搬具(純額)	219,146	217,591
土地	791,203	792,923
建設仮勘定	18,893	17,692
その他(純額)	89,780	94,299
有形固定資産合計	1,767,984	1,754,071
無形固定資産		
のれん	64,639	57,980
その他	13,289	11,059
無形固定資産合計	77,929	69,039
投資その他の資産	<sup>1</sup> 138,844	<sup>1</sup> 99,575
固定資産合計	1,984,758	1,922,686
資産合計	3,960,174	3,736,155
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	395,024	371,746
短期借入金	1,154,947	1,019,413
リース債務	12,344	11,695
未払法人税等	15,712	9,954
賞与引当金	20,200	40,578
その他	214,545	201,240
流動負債合計	1,812,773	1,654,627
固定負債		
長期借入金	521,727	498,805
リース債務	38,062	35,524



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
繰延税金負債	22,559	22,449
退職給付引当金	193,447	204,288
役員退職慰労引当金	53,416	51,006
固定負債合計	829,213	812,073
負債合計	2,641,986	2,466,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	554,541	554,541
利益剰余金	46,928	2,769
自己株式	3,573	3,573
株主資本合計	1,312,047	1,262,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,141	7,105
その他の包括利益累計額合計	6,141	7,105
純資産合計	1,318,188	1,269,453
負債純資産合計	3,960,174	3,736,155

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,053,259	2,107,907
売上原価	1,624,402	1,688,173
売上総利益	428,856	419,734
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 464,589	<sup>1</sup> 469,934
営業損失( )	35,732	50,200
営業外収益		
受取利息	658	824
受取配当金	705	753
補填金収入	17,139	22,946
その他	3,403	3,624
営業外収益合計	21,906	28,148
営業外費用		
支払利息	13,264	9,855
その他	51	52
営業外費用合計	13,315	9,907
経常損失( )	27,141	31,959
特別利益		
固定資産売却益	1,502	1,027
受取保険金	2,297	480
補助金収入	-	1,677
特別利益合計	3,799	3,185
特別損失		
固定資産売却損	312	370
固定資産除却損	2,368	835
災害による損失	2,850	-
固定資産圧縮損	-	1,677
特別損失合計	5,530	2,883
税金等調整前四半期純損失( )	28,872	31,657
法人税、住民税及び事業税	8,481	7,914
法人税等調整額	1,669	2,393
法人税等合計	10,151	5,520
少数株主損益調整前四半期純損失( )	39,023	37,178
四半期純損失( )	39,023	37,178

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	39,023	37,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,086	963
その他の包括利益合計	2,086	963
四半期包括利益	41,109	36,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,109	36,214

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	28,872	31,657
減価償却費	128,911	123,737
のれん償却額	6,659	6,659
貸倒引当金の増減額( は減少)	87	95
賞与引当金の増減額( は減少)	20,304	20,377
退職給付引当金の増減額( は減少)	2,721	10,841
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	1,429	2,410
受取利息及び受取配当金	1,363	1,577
支払利息	13,264	9,855
有形固定資産売却損益( は益)	1,189	657
有形固定資産除却損	2,368	835
売上債権の増減額( は増加)	57,041	925
たな卸資産の増減額( は増加)	28,616	15,542
未収入金の増減額( は増加)	4,791	11,360
仕入債務の増減額( は減少)	1,409	23,277
補助金収入	-	1,677
固定資産圧縮損	-	1,677
その他	15,200	18,165
小計	154,162	99,571
利息及び配当金の受取額	1,366	1,577
利息の支払額	13,116	10,218
補助金の受取額	-	1,677
法人税等の支払額	23,305	7,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,107	84,939
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	137,349	106,915
有形固定資産の売却による収入	2,758	2,633
有形固定資産の除却による支出	2,105	49
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	50,000
貸付けによる支出	1,880	8,506
貸付金の回収による収入	6,125	3,934
ソフトウェアの取得による支出	290	441
差入保証金の回収による収入	-	110
その他	5,615	6,866
投資活動によるキャッシュ・フロー	138,355	66,100

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	-	130,000
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	93,595	128,456
配当金の支払額	12,295	12,322
その他	7,453	7,385
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>86,656</b>	<b>178,164</b>
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	67,408	159,325
現金及び現金同等物の期首残高	753,503	731,706
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 820,911	<sup>1</sup> 572,381

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
投資その他の資産	478千円	478千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
運賃	101,882千円	104,299千円
給与手当	120,340	123,092
賞与引当金繰入額	16,281	16,854
退職給付引当金繰入額	5,086	5,043
役員退職慰労引当金繰入額	1,429	164

2 当社グループの主たる事業では、鍋シーズンやクリスマスなどの冬季に、鶏肉製品が集中して受注を受けるため、第3四半期連結会計期間の売上高は他の四半期連結会計期間の売上高と比べ著しく高くなるという季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	800,457千円	551,915千円
マネー・マネジメント・ファンド	20,453	20,465
現金及び現金同等物	820,911	572,381

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	12,520	3	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	12,520	3	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	産直畜産	総合宅配	牛乳製造卸売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,678,487	312,346	26,105	2,016,939	36,319	2,053,259
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,075	1,363	31,675	86,114	122,654	208,769
計	1,731,563	313,709	57,781	2,103,054	158,974	2,262,028
セグメント利益又は損失 ( )	118,153	10,944	9,834	97,374	6,508	90,865

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、牛乳宅配事業及び物流部門等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	97,374
「その他」の区分の利益	6,508
のれんの償却額	6,659
全社費用(注)	119,939
四半期連結損益計算書の営業損失( )	35,732

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	産直畜産	総合宅配	牛乳製造卸売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,690,247	344,336	29,954	2,064,537	43,369	2,107,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	59,665	1,337	30,879	91,882	125,256	217,139
計	1,749,913	345,673	60,833	2,156,420	168,626	2,325,046
セグメント利益又は損失 ( )	91,797	227	11,550	80,473	5,280	75,193

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、牛乳宅配事業及び物流部門等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	80,473
「その他」の区分の利益	5,280
のれんの償却額	6,659
全社費用(注)	118,734
四半期連結損益計算書の営業損失( )	50,200

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額	9円35銭	8円90銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	39,023	37,178
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	39,023	37,178
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,173	4,173

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

株式会社秋川牧園

取締役会 御中

西日本監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 梶田 滋 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 大藪 俊治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社秋川牧園の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社秋川牧園及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。